

### 【塾講師アルバイト 教室運営まとめ】

#### ■働いている環境に対するモチベーション:「誰かのためになる(期待に応えたい)」

年次が低い時は上司。中堅はその環境の責任者。ベテランは後輩。

- ・低年次:上司
- ・中堅:環境の責任者
- ・ベテラン:後輩

→ベテランになって満たれなくなって辞める。

#### ■塾で働く意義:「生徒の成績を上げて、良い大学に入ってもらい、生徒の幸せな人生に貢献する」

前提として、この意義に納得・やりがいを感じて働いている。

この前提がある上での、環境に対する貢献が出る。

→自分で経験して良かったし、他の人にも必要だと思うから、塾で働くこと自体に疑問がなかった。

→今の会社にはこれがないから、ずっと苦労している。

→これは「信念」に大きく関わる内容

そういう意味では、今の会社も「低年次」の役割は果たしている。

次の中堅になったとき、会社への貢献に代わるから、そうなるとやっていけないかも。

#### ■期待に応えたい人(「拠り所」の価値観の影響を受ける)

- ・高校までは、祖母。「良い成績を取って、良い大学に行きなさい」
- ・塾先輩。「教室運営ちゃんとやる。」
- ・会社先輩。「なんだろ、わからないけどあんな感じ。お客さんにも強くでれる？」

#### ■拠り所が必要な理由

自分に自信がないから、誰かのためになっている・人から信頼されている状態が心地よい。

#### ■成功パターン

・「拠り所」となる上司がフォローしてくれる状況下で力を発揮する。(リーダになったばかりの時)

→「調和性で上司と一致している」・「自信のなさからのフォロー」・「戦略性に欠けるため軌道修正」

・同じモチベーション・方向性の人と一緒に仕事する。(塾での研修)

→「調和性でメンバと一致している」・「自信のなさをフォロー」・「戦略性に欠けるため軌道修正」

★調和のとれた環境(小人数が良い)

★自信のなさをフォローしてしてる人の存在(「いいんじゃない」がほしい！)

★戦略性をカバーしてしてる人の存在(未来が見えている人求む！)

#### ■失敗パターン(余裕がない時に発生する)

・他の人に仕事を任せた時に、自分の期待値より低いと自分で責任を取ろうとする。

→「責任感」で自分でやった方が早いと思う。

後輩を指導する選択肢を持っていない。(最近はそんなことないけど。)

結果自分がキャパオーバーになる上に、後輩が育たない。

⇒後輩を指導する。×切を変える。自分のビジョンを明確にする。

・他人の仕事を奪ってしまう。

→他の人が余裕ないかなと思った時に役割でもないのに勝手に手伝う。

手伝った人のモチベーション低下が発生する。

⇒本人に様子を伺い、本人の気持ちを確認する。

・課題がない課題で悩んでしまう。

→「エニアグラム**心配性**」のため、将来の漠然としたことに不安を覚える。

それは実際に起きている問題ではないのに、時間を思いつきかけて、悩む。

でも**問題は起きていない**から、解決しない。

⇒それが「課題」か「不安」かを明確にする。

かつ「自分の問題」か「他者の問題」かを明確にする。

#### ■価値観

- ・仕事は辛い
- ・断ると嫌われる
- ・期待に応えないと
- ・楽しそうに働いていない人多いな
- ・楽しそうに働いている人増やしたい
- ・仕事を引き受け過ぎる、真剣に悩み過ぎるとキャパオーバーを起こす。
- ・もうあんな辛い思いはしたくない

#### ■長所

その環境にとって最善となる選択をする。